



令和5年 1月31日
豊玉南小学校だより

令和4年度 2月号

とよみなみ

冬から春へ

副校長 彌永 英俊

大寒を過ぎ、一年のうちで最も寒さの厳しい時期となりました。特に、今年は例年になく空気の冷たさを感じる日が続いています。しかし、このような中でも本校ではマラソン旬間を実施し、子供たちはもちろん、校長先生をはじめ担任や専科の先生、支援員とみんなで校庭を走り、活気に満ち溢れています。元気よく走る児童の中には、Tシャツ短パン姿の子やノースリーブで颯爽と私の前を駆け抜けていく6年生の姿もあり驚かされます。凍てつく寒さの中にあっても、豊南パワーを感じることができ、とてもうれしく思います。

さて、この寒さが厳しい時期を二十四節気では「大寒」としていません。今年の大寒は1月20日から2月3日まで、そして大寒が終わる2月3日を「季節の分かれ目」ということで「節分」と呼びました。翌日2月4日を「立春」として、読んで字のごとく、この日は春が始まる第一日目ということになるわけです。

しかし、季節の分かれ目は年に4回あるのに、なぜ冬から春になる時だけ「節分」という言葉が残ったのでしょうか。冬の寒さを耐え凌ぎ、あたたかな春がやってくるということは、自然界の営みだけではなく、我々人間にとってもとても大切な季節だからではないでしょうか。新しい学年への進級、小学校から中学校への進学、大人は就職したり、新しい場所に職場が変わったりします。それ故に、冬から春にかけての季節の分かれ目は、昔から大切にされてきたのです。

今年度も残すところ36日の登校日となりました。学校ではこの36日間をどのように過ごして春を迎えるか、とても大切な時期だと考えています。「元気な挨拶」「時間を守る」「人の話をしっかり聞く」といった基本的なことから、学習面での目標、個々に頑張っているスポーツや芸術活動などの目標、頑張ろうとする目標は人それぞれだと思います。いずれにしても、今の自分をしっかりと見つめ、進級進学に向けてどのような力を伸ばしたいのか、一人一人目標をもって活動させていきたいと考えています。春の訪れを待つのではなく、豊玉南小学校の児童は教職員と共に、寒さに負けず一歩ずつ春に向かって進んでいきます。



2月の行事予定

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|------------------|
| 1日(水) | 5時間授業(全学年) | 20日(月) | 補充教室 |
| 6日(月) | 委員会活動 | 21日(火) | 保護者会(5・6年) |
| 7日(火) | 社会科見学(3年) | 22日(水) | 5時間授業 |
| 9日(木) | 午前授業(1年) | 23日(木) | 天皇誕生日 |
| | 新1年生保護者説明会 | 24日(金) | 読書旬間終
6年生を送る会 |
| 10日(金) | 百人一首ロング集会 | 27日(月) | 委員会活動 |
| 11日(土) | 建国記念の日 | 28日(火) | 保護者会(3・4年) |
| 13日(月) | 読書旬間始
クラブ活動・見学(3年) | | |
| 14日(火) | 社会科見学(5年) | | |
| 15日(水) | 特別時程 午前授業 | | |
| 16日(木) | お別れスポーツ大会(5・6年) | | |
| 17日(金) | 子供を笑顔にするプロジェクト | | |

今月の生活目標

寒さに負けない体にしよう

空気の乾燥した日が続いています。冬には、寒さから体温が下がり病気への抵抗力も落ちます。よく食べよく寝よう指導し、改めて生活習慣を見直させることを通して元気な体を育めるとよいです。本校でも、こまめに「手洗い」をすることを引き続き指導しています。休み時間には空気の換気も行い、清潔な空間で学習に取り組めるよう環境を整えています。ハンカチ・ティッシュを持参するようご家庭でもお声掛けください。

〈小中連携〉

小中連携担当 井内 佑馬

今年度は小中一貫教育研究発表校として、豊玉中学校、豊玉小学校とともに、「夢と志を語る児童・生徒の育成」を研究主題として研究を進めてきました。

「キャリア教育」「人間関係作りの充実」「論理的思考力（根拠をもとに考える力）の向上」

「小中間での交流」の4つを研究の柱とし、小学校、中学校での情報共有や連携の在り方などについて研究・協議してきました。その中で、小学校と中学校を切り離して考えるのではなく、9年間を見通した教育活動の充実が課題として見えてきました。小学校段階で身に付けておくべき力、そして身に付けた力をどう生かし、中学校へとつなげていくのが大切です。

コロナ禍になって以降、小学校・中学校間の交流というのは少なくなっています。今年度の研究をきっかけに、教員間同士が連携を図り、小中一貫教育の充実を深めていきたいと思えます。また、児童・生徒の交流にも取り組んでいきます。中学生の姿を見て、「カッコいいな〜」「こんなことができるんだ」と中学校への憧れや意欲をもたせていきたいです。

今後も活動を通して連携を深めていきます。

〈季節の一句〉

季節の一句担当 野崎香奈

子供たちは年に4回、季節の一句の俳句作りに挑戦しています。季節ごとに、校長先生のお題に沿って、自然の変化や生活の中から発見したこと、感じたことなどを五七五のリズムにのせて表現します。短い言葉の中で自分の思いを伝えるとともに言葉に対する感覚を磨くことをねらいにしています。各クラス1名の優秀作品の中から最優秀賞が決まります。他にも、トミー賞、ミミー賞があります。これまでの最優秀作品です。

走ったら ほっぺとさくら 同じ色

(春・3年生作)

せんぶうき 前をとりあう 家族かな

(夏・4年生作)

父に負け くやしく思う 将棋の秋

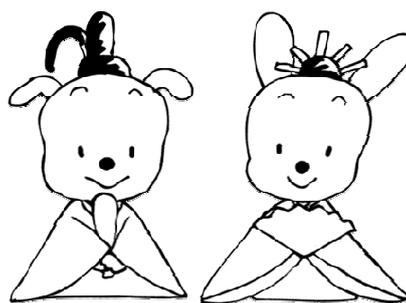
(秋・4年生作)

冬の優秀作品は、2月初旬に選考します。

◇給食費・教材費 引き落とし日

①2月6日(月) ②2月15日(水)

入金をよろしくお願ひ申し上げます。



〈スターを探せ集会〉

集会担当 川内歌菜

1月19日、26日(木)に、「スターを探せ集会」が行われました。「スターを探せ集会」とは、オーディションを勝ち抜いた児童が全校児童の前で特技を披露する、豊玉南小学校に代々受け継がれる集会です。今年は、2年ぶりに全校児童が体育館に集まり、選ばれたスターの皆さんの演技を見ることができました。種目も歌、ダンス、合奏、フラッシュ暗算、縄跳びダンス、マット運動、サッカー、お笑いと同様で、見ている皆を楽しませてくれました。練習を重ねた演技も大変素晴らしく、体育館には大きな歓声が響き渡りました。